

砂川学習館・地域コミュニティ機能複合施設建替え工事の遅延について

1 概要

砂川学習館・地域コミュニティ機能複合施設については、令和7年度中の供用開始を目指し整備を進めている。

本整備事業のうちの砂川学習館・地域コミュニティ機能複合施設建替え工事（建築・解体）については、令和5年中に旧施設の解体工事を行い、その後新施設の建築工事を行っていた。令和6年4月16日及び17日に1階床スラブ部分のコンクリートの打設を行い、その後に所定のコンクリートの強度試験を実施したが、基準を満たさない結果となった。このことを受け5月23日から建築工事を休止している。

現在、事業者の原因や今後の対応についての説明を求めているが、調査中の状況である。

2 影響等について

① 工期の延伸

強度の確認ができるまで、次の建築工事の工程に進むことができないため、工期延伸が必要となる。

② 他の工事との関係

本工事は分離発注方式を採用しており、別に電気設備工事、機械設備工事、昇降機工事、工事監理業務の契約がある。本体の建築工事の延伸に伴い、これらの受注者との契約変更が必要となる。

③ 契約額の変更

上記①②により、契約額の変更が生じる。なお、現時点では詳細な影響が不確定であるため、今後、事業者からの報告を踏まえ、対応を検討する。

3 その他

① 子育てひろば事業の影響

本工事の期間中、本工事が遅延した場合、代替の場所を確保する必要がある。

② 令和7年度に予定しているこぶし会館中規模改修工事の実施時期への影響

従来の砂川学習館の利用者は、本工事の期間中は比較的圏域が近い、こぶし会館を使用しているケースが見られる。よって、こぶし会館の中規模改修工事と本工事の時期の重複を可能な限り避ける必要がある。

③ 工期延伸の説明会の開催